

山田町で栽培されている菊の種類

山田町で栽培されている菊は千種類を超え、その一部をご紹介します。



凛とたつ山田之菊の美しきかな。

神戸市北区山田町の菊

山田之菊

YAMADANOKIKU

神戸市花き協会

「山田菊の学校」

神戸市北区山田町にある山田小学校では、菊の生産農家が先生となり子どもたちが地域の特産品である菊について学ぶ「山田菊の学校」が、毎年開催されています。

七月～九月にかけて、菊の種類や産地の歴史についての講義を受けた生徒たちが、実際に菊を種から育て、咲いた花をアレンジメントにして音楽会などの行事で飾ります。ひとりひと鉢ずつ菊の植え付けを行い九月の開花に向けて菊を育てていきます。



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization

City of Design
KOBE

Member of the UNESCO
Creative Cities Network
since 2008

発行元：神戸市花き協会（事務局：（一財）神戸みのりの公社）
〒651-1522 神戸市北区大沢町上大沢2150
道の駅「神戸フルーツ・フラワーパーク 大沢」内
電話：078-954-1010 FAX：078-954-1015

（平成28年12月発行）



「山田のにりんこ」として
愛着をもって呼ばれ愛され続けている。

美しくも貴重な二輪菊に代表される
「山田之菊」、その美しさに歴史あり。

神戸市の菊の栽培は明治四十年頃、神戸市北区にある山田町から始まりました。

昭和になると需要が増え、戦争で一時減少しましたが、その後復活し昭和三十年頃にピークを迎えました。

時代とともに栽培農家の数は少なくなりましたが、高い栽培技術は伝統として受け継がれ、その技術が不可欠となる二輪菊の栽培が今でも続けられています。

山田町は、昼夜の寒暖差が大きいため花や葉の色がさえると言われ、また土も水はけが良く菊の栽培に適した条件が整っています。



熟練された高度な技術により
仕立てられる美しき二輪菊。

山田町では、全国的に珍しい二輪菊をはじめ、一輪菊・小菊など、色彩豊富で様々な種類の菊が栽培されています。二輪菊は、ふたつの花が重なり合うように咲く特徴的な形状の花で昔から生け花の世界で特に重宝されています。

ふたつの花を美しく咲かせる為には、品種特性ではなく沢山の花を咲かせるタイプの菊を、栽培過程で二輪だけ残すよう、芽かき作業を行い、仕立てていくといった、高度な技術が必要となります。

その二輪の花のあるべき位置と枝分かれの位置からの適度な距離感が必要とされバランスの良い二輪菊を作るには、熟練の技術が求められ、多大な手間がかかります。

山田町の二輪菊は、業界内で「山田のにりんこ」として広く浸透しています。山田町では菊の生産農家がそれぞれに育種を行っており、多様な色と長持ちする品種の栽培技術の高さが花市場で評価されています。

